



2020年9月作成

2022年4月改定

京都府ドッジボール協会 理事長 齋藤 誠

大会開催時等における感染防止対策について/京都府協会主催

京都府協会主催の今後の大会については、『新型コロナウイルスの感染状況』、『主催者、参加者側の相互協力』を仰いだうえに、最大限の感染防止対策を実行できるかをふまえ、『主催者側として参加者の安全を最大限確保できる』体制が取れるとの判断ができた上に大会を開催いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大がいつどのように変化していくかはわかりません。主催者側、参加者側の相互の努力において成り立つものであり、最大限の努力をしても感染が起こらないとは限りません。試合においても、今まで通り行えるとは限りません。感染防止対策を行う上で、スムーズな進行が出来ない状況（試合数の減少、簡素化、省略等）がある事もふまえて、出場されるチームは、指導者、保護者、関係者の皆さまとよく話し合いをした上で、参加判断をお願い申し上げます。

下記にあげる方針をもとに、皆さまのご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

1.基本方針

- ①下記の事項に該当する場合は参加・入場をお断りします。
 - 1 不織布マスクの着用（持参）をしていない場合。
（着用は試合中・周りとの距離がある場合を除く）
 - 2)検温及び体調に関する聞き取りを行い、少しでも体調不良・不安がある場合。
 - 2)本人及び同居人に発熱・咳・喉頭痛・だるさ・息苦しさ・嗅覚味覚の異常・風邪の症状がある場合
 - 3)同居人や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - 4)過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ②来場する方全員に、①のチェック、検温、参加者氏名・連絡先等の記名を義務付けします。
- ③こまめな手洗いやアルコール等による手指消毒を実施します。
- ④人との距離を十分確保します。（最低1.0m以上）目標2m！（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤大きな声で会話、応援をしません。
- ⑥感染防止のために主催者側が決めた指示、措置に遵守すること。
- ⑦万が一新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、京都府協会に速やかに報告すること。

2. 参加受付時の対応

- ①受付窓口には、手指消毒剤を設置します。
- ②不織布マスクの着用をお願いします。
- ③事前に提出を求める参加者全員の連絡先等の提出を行っているか。（事前に提出、当日も持参のない場合は参加できません。）
- ④当日の朝、チーム毎に参加者全員の健康確認票の内容を確認し、参加の可否を判断します。
- ⑤受付時間をチーム毎に設定し、受付の確認が済んだチームから入場を行っていただきます。
- ⑥座席はチーム毎に指定。（選手・指導者・保護者の座席は固定とし、座席の移動は行いません。）

3. 大会中に注意すべきこと。

①参加者全員の体調管理・衛生面、行動の徹底。

- 1) マスクの着用
- 2) 参加者の体調を常に確認する。
- 3) 会場のすべての窓、ドアを開け換気を行う。
- 4) 各自の荷物はバラバラに置き（子供達が一度に荷物の所へ集まらないように）飲み物やタオルも同様にする。
- 5) 飲食については指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って黙食でお願いします。
- 6) 飲食物の取り分けや、回し飲み等を行わない。
- 7) 試合中・休憩中を問わず他人とのおしゃべりや、声出しなどの行為は極力しない。
- 8) トイレに行ったら、必ず手洗いをする。
- 9) 常にソーシャルディスタンスを意識する。
- 10) 熱中症予防のため、水分をこまめにとる。
- 11) 身体や手に触れる器具は、使用前・後に必ず消毒をする。他人の身体に直接触れることはしない。
- 12) 休憩時にも、手洗い（手指の消毒）、うがいを行う。
- 13) 自分の持ち物（使用したマスク、タオル等）は、自分のかばんの中に必ず入れる

②選手において

- 1) 試合でプレーしている（ベンチの選手はマスク着用）時、給水、飲食以外はマスクを着用する。
- 2) マスクをしていても大きな声で応援、おしゃべりをしない。
- 3) 自分の持ち物（水筒、タオル、マスク）をしっかりと管理し、人の物は持ってあげない。
- 4) トイレに行った後は必ず、手洗い、手指の消毒をする。
- 5) 靴底を触らない。靴底を触ってしまった場合は必ず手洗い（手指の消毒）を行う。
- 6) 体調がおかしいな？と感じた場合は必ず指導者（大人）に報告する。

③指導者において

- 1) 常時マスクを着用する。
- 2) ミーティング時に選手との距離を最低 2.0m 離れた状態（対面の為）で、短い時間で終わらせる。
- 3) 選手への安全確認及び指導時は大きな声を極力出さず、選手、審判と適切な距離を保ち接すること。

④保護者において

- 1) 常時マスクを着用する。
- 2) 応援は大きい声でしないこと。
- 3) 決められた場所以外の応援は行わない。
- 4) 選手や指導者へ手渡しするものについては、消毒をおこなった上で、直接手が触れないようにする。
- 5) 過度な接待を行わない。

⑤審判において

- 1) 審判は飛沫感染を防ぐバフ若しくはマスク着用を心がける。
- 2) 選手・他の審判との距離を常に適切に保つように心がける。
- 3) ホイッスルの使用の仕方を決定する。（電子ホイッスルの活用等）
- 4) 試合直後においては、決められた場所で休憩を行い、バフ若しくはマスクを着用する。

4. 共通確認事項

①応援について

- 1) 応援席は各コート指定とし、それ以外の場所での応援は行いません。
- 2) マスクの着用を義務付けします。
- 3) 人との距離は、座席左右1つ分は確保し、前後においても間隔を開ける。
- 4) 拍手、団扇での応援とし、大きな声を出して応援することを禁止する。

②手洗い場所

- 1) トイレの蓋を閉めて汚物を流す。
- 2) 手洗い後には必ず石鹸で手を洗い、消毒を行う。
- 3) トイレ用スリッパを必ず着用する。靴着用して履くスリッパ以外で同様の事を行わない。

③休憩・待機スペース

- 1) 休憩・待機スペースは基本、チームに与えられた座席とする。
- 2) 施設内の休憩場所（共有スペース）に集まらない。（主催者側で指定した場所を除く。）
- 3) 広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- 4) 屋外等、換気が十分に行なわれている場所で休憩する。
- 5) 必要以上にイス、テーブル、器具、壁等に手を触れない。

④飲食物の提供について

- 1) 飲食物は各自で用意するように心がける。飲食物を提供する場合は、消毒シマスクを着用する。
- 2) 飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を行う。
- 3) ジャグなどの複数の人が密接して触れるものは使用しない。

⑤会場の換気について

夏の暑い時期、冬の寒い時期でも十分な換気を行わなければなりません。
着ている衣服等は温度調節が出来るよう、暑さ、寒さ対策をしっかりと行ってください。

⑥ゴミについて

- 1) 各チーム参加者でゴミの処理をお願いします。
- 2) 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋等に入れて密閉した状態でお持ち帰り下さい。
- 3) 施設内のごみ箱は使用できません。ゴミは各自持ち帰りをお願いします。

1つでも多くの大会を開催できるよう、全国大会開催が実現するよう1つ1つ心がけ、努力をしましょう。

京都府ドッジボール協会 理事長 齋藤 誠
